

大成建設とも連携

大成ロテックが BCP全国訓練

大成ロテックは10日、全国の拠点でBCP（事業継続計画）訓練を実施した。写真。同社とグループ会社のボー、ティーアールコンサルタン、ト、泰明工業、京丹建設の社員も含め1547人が参加し、発災時の対応を確認した。また、同日に実施された大成建設のBCP訓練とも連携し、緊急連絡体制の確保や情報収集、大成建設の支援要請に対する対応、災害用資機材手配・供給を訓練した。

訓練では、休日の午前6時に都心南部で地震が発生し、本来災害対策本部を設置することになっている東京都新宿区の本社に障害が発生したと想定。非常用電源設備のある鴻巣研修センターを代替拠点



として、災害対策本部を立ち上げた。社員、家族の安否や全国の拠点とウェブ会議システムによる通信を確認し、初動体制を実行できることを確かめたほか、災害対策本部に

参加できない各対策部長らが自宅最寄りの拠点に参集して遠隔指揮が取れることも確認した。その後、災害対策本部を本社に移管し、グループ会社とのウェブ会議システムを使った連携や被災拠点の支援要請に対する対応などを訓練

した。また、今年度から導入した災害情報集約サービスで、災害情報や関連する自社拠点と取引先拠点の被災状況を確認する訓練も実施した。

訓練後の講評で西田義則社長は、「災害時、国民の生活を元に戻すために重要な道路を復旧させることは、社会貢献として大切なことだ。それを念頭に置いて舗装工事業者であるわれわれは常日ごろから行動しなければならぬ」と呼び掛けた。